

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 11 月 30 日 (2023.11.30)

【公開番号】 特開 2023-113751 (P2023-113751A)
【公開日】 令和 5 年 8 月 16 日 (2023.8.16)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-153
【出願番号】 特願 2023-88154 (P2023-88154)
【国際特許分類】

C 0 7 K 7/08 (2006.01)
A 6 1 K 38/02 (2006.01)
A 6 1 K 38/10 (2006.01)
A 6 1 P 9/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/00 (2006.01)

10

【F I】

C 0 7 K 7/08
A 6 1 K 38/02 Z N A
A 6 1 K 38/10
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 25/00

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 11 月 8 日 (2023.11.8)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

TAT-NR2B9c (配列番号: 6) であり且つ 1 又は複数のアミノ酸が D-アミノ酸である
ペプチドの塩化物塩を含む製剤であって、
前記製剤中におけるクロライドと酢酸アニオン及びトリフルオロ酢酸アニオンとのモル
比は、95:5 超えである、製剤。

【請求項 2】

製剤の調製方法であって、前記方法は、
TAT-NR2B9c (配列番号: 6) であり且つ 1 又は複数のアミノ酸が D-アミノ酸であるペ
プチドの塩を合成するステップであって、
前記塩中の全てのアニオンの 95 モル % 超がクロライドである、ステップと、
前記塩を製剤に加えるステップと、を含み、
酢酸イオン及びトリフルオロ酢酸イオンの各々は、前記製剤におけるアニオンの 5 モル
% 未満で含まれる、
方法。

40

【請求項 3】

脳卒中又は他の虚血性状態の損傷の影響を低減させるための医薬品の製造における、T
AT-NR2B9c (配列番号: 6) であり且つ 1 又は複数のアミノ酸が D-アミノ酸であるペプチ
ドの塩の使用であって、
前記塩中の全てのアニオンの 95 モル % 超がクロライドであり、
酢酸イオン及びトリフルオロ酢酸イオンの各々は、前記医薬品におけるアニオンの 5 モ
ル % 未満で含まれる、使用。

50

【請求項 4】

前記製剤又は医薬品は、ホスファート緩衝剤を含む、請求項 1 に記載の製剤、請求項 2 に記載の方法又は請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

前記ホスファート緩衝剤は、50 mM のリン酸ナトリウムであり、

前記製剤は、76.9 mM の塩化ナトリウムを更に含み、

前記製剤は、pH 7.0 である、

請求項 4 に記載の製剤、方法又は使用。

【請求項 6】

前記製剤は、トレハロースとヒスチジンを含む、請求項 1 に記載の製剤、請求項 2 に記載の方法若しくは請求項 3 に記載の使用又は請求項 4 に記載の製剤、方法若しくは使用。

10

【請求項 7】

前記ペプチドの塩は70-120 mg/ml の濃度であり、前記ヒスチジンは15-100 mM の濃度であり、前記トレハロースは80-160 mM の濃度である、請求項 6 に記載の製剤。

20

30

40

50